

平成24年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	行政事務連絡員制度運営事業			基本目標	町民が参画できる体制づくり		
担当課(局)・係	総務課	行政係	記入者	増田 浩史	評価者	間 省二	開始年度 S38 年度

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	対象(誰を・何を)	町											
	意図・目的	行政事務の効率化											
事業の内容	自治公民館緒の推薦により各行政区から1人を行政事務連絡員として委嘱し、町広報紙等文書の配布、町政情報の伝達などを行ってもらう。												
23年度決算額		12,230	千円	24年度予算額		12,454	千円	事業従事者数	H23 0.42	人	H24 0.42	人	
主な支出項目	報酬	12,094	千円	財源内訳	国庫支出金		千円	23年度人件費	2,998			千円	
	旅費	136	千円		県支出金		千円	24年度人件費	3,000			千円	
			千円		地方債		千円	24年度予算額における一般財源の割合(H24)		100.0	%		
			千円		一般財源	12,454	千円	根拠法令・要綱等があれば記載してください					
			千円				千円	高鍋町行政事務連絡員設置規則					
町の補助事業	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 町単独補助 <input type="checkbox"/> 国県補助		補助事業名		-								
	補助交付団体		補助金要綱		-								
	23年度	補助額	-	千円	補助の形態	-	H24年度補助額	-	千円	終期	-	年度	
		団体の決算額	-	千円	H23年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等								
		補助の割合	-	%									
繰越額		-	千円										

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	1 文書配布等	町民に対し文書の配布をはじめとした町政情報を提供する。
	2	
	3	
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	1 行政事務連絡員会	行政事務連絡員の業務が円滑に遂行されるための会議を開催
	2	
	3	

◎達成状況

	指標名	単位	22年度	23年度	24年度
			目標値	24	24
成果指標	文書配布等	実績値	24	24	
		達成率	100.0%	100.0%	
		目標値			
		実績値			
		達成率			
		目標値			
活動指標	行政事務連絡員会	実績値	2	2	2
		達成率	100.0%	100.0%	
		目標値			
		実績値			
		達成率			
		目標値			

事務事業名	行政事務連絡員制度運営事業	担当課(局)	総務課
-------	---------------	--------	-----

◎事務事業の評価

	担当者記入欄	評価する項目	点数
			自己評価
必要性 (必要性)	町が行うべき事業である。 第5次行財政改革大綱に基づき制度を廃止する予定だったが、当面は現行制度を維持することとなった。 仮に事業を廃止することとなった場合は、行政事務連絡員をお願いしていた業務(特に文書配布業務)について、代替の事業を確立し、進める必要がある	◎目的からして町が行うべきか	2
		◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか	2
		◎社会情勢(住民ニーズ)に適応しているか	2
		◎事業廃止による影響があるのか	2
有効性	成果は得られている。 目標は、一部未達成の部分があるが、目標を達成するためには、制度の廃止あるいは制度の抜本的な見直しは不可欠である。	◎目標に対して成果は得られているか	2
		◎すでに目的は達成されていないか	1
効率性	活動量に対する効果は十分高い。 費用(行政事務連絡員に支給する報酬)については、事業効果と比較すると若干高めであるように感じられる。	◎活動量の効果は実際に上がっているか	2
		◎費用対効果が十分に認められるか	1
協働性	行政事務連絡員は、非常勤特別職の地方公務員であるため、現行制度では協働の余地はない。	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	0
合計(最高18点)			14

※町補助をしている場合のみ記入

公平性 (公平性)	◎公益性が高いか ※公益性:不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していること	-
	◎行政では対応できない部分を、補助事業がカバーしているか	-
	◎町民の理解が得られる事業であるか	-
合計(最高4点)		-
その他		

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当者の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	行政事務連絡員と自治公民館長の身分保障等の問題で、なかなか業務を地区に委託して行わせることができないのが現状である。法的問題等を検討し、また各地区の理解を貰いながら、委託の方向に進んでいきたい。	今後の方向性			
			事業の方向性	拡充	維持	縮小
				○		
			廃止	縮小	維持	拡充
			コスト			

◎事務事業評価委員の意見等

・現時点では業務を地区に委託できない現状があるが、委託の方向に進められるよう、法的問題等を検討していくことが必要である。	◎今後の方向性	
	事務事業評価委員会	
	判定	維持
	外部評価委員会	
	判定	答申書参照